

宮城県道路メンテナンス会議

宮城県道路メンテナンス会議の概要

道路老朽化対策として、総力を挙げて本格的なメンテナンスサイクルを始動することとなりました。

その第一歩として、「道路メンテナンス会議」を立ち上げます。

目 的

各道路管理者におけるメンテナンスサイクルを持続的に回すことにより、老朽化対策の本格実施に貢献し、国民生活の安全かつ円滑な活動の確保及び効果的な道路管理を実現する。

開催目標

確実な開催：本会議は年度2回、現地研修会等を各地域1回程度開催

体 制

- | | |
|--------|--|
| 会長 | ：東北地方整備局仙台河川国道事務所長 |
| 副会長 | ：宮城県土木部道路課長 |
| 会員 | ：宮城県、県内市町村、東北地方整備局道路部・
仙台河川国道事務所、宮城県道路公社、
東日本高速道路(株)東北支社 |
| 事務局 | ：整備局・仙台河川国道事務所・東北技術事務所、県道路課 |
| オブザーバー | ：宮城県建設センター |

取り組み事項(案)

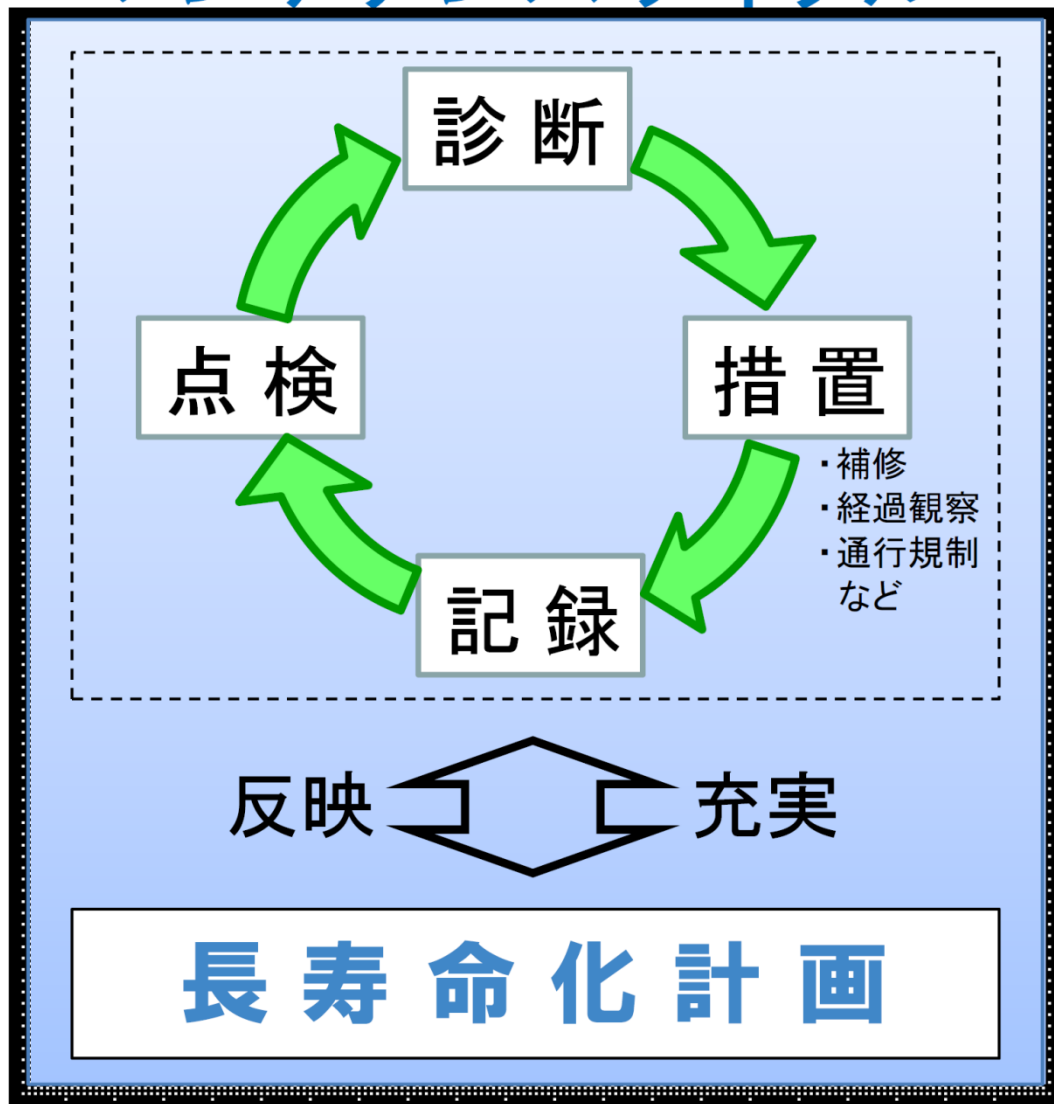
- ①道路メンテナンスに関する情報共有
 - ・技術基準説明会、現地研修会等の実施
 - ・損傷事例や対応事例に関する情報の共有
 - ・点検、措置状況に関する情報共有 等

- ②関係者の意見調整
 - ・点検、補修等に重点的に取り組むべき路線に関する意見調整
 - ・対外協議に関する調整 等

- ③国民・道路利用者等を対象とした広報
 - ・点検結果や構造物の健全度に関する情報発信
 - ・老朽化対策に対する関心と理解の醸成 等

- ④その他、会議の設立の趣旨に沿った活動の企画及び実施

メンテナンスサイクル



点検: 5年に一度
近接目視で

診断: 部材毎、全体
を4判定区分で

- ・健全
- ・予防保全段階
- ・早期措置段階
- ・緊急措置段階

措置: 補修・規制 等

記録: 供用期間中